



2023年11月9日

たてくるジオパーク

だより 第63号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階

TEL: 076-431-2089

FAX: 076-482-3204

MAIL: info@tatekuro.jp HP: https://tatekuro.jp/

https://facebook.com/tatekuro

☆ 第13回日本ジオパーク全国大会 in 関東

10月28、29日に第13回日本ジオパーク全国大会 in 関東が銚子会場（メイン）と秩父会場（サテライト）で開催されました。28日の午前中は銚子会場での開会式に続いて基調講演及び基調提言があり、秩父会場へは映像配信されました。午後からは分科会が行われ、銚子会場では、分科会①【災害（防災・減災）をどう伝えるか】 分科会②【ジオパークから考える川・海のゴミ問題】 分科会③【「ジオパークって何をする活動？」初歩から考える地質物品の販売問題】 分科会④【ガイド研修会】 分科会⑤【市町村長セッション「ジオパークは誰のためのもの？」】 分科会⑥【ユースセッション「ユース世代で考える地域と地球の未来」】の6分科会に別れ、秩父会場は、分科会⑦【ジオパークから発信するサステナブルツーリズムの今】 分科会⑧【つながりを取り戻すーフェノロジーカレンダーで地域風土を再発見】 分科会⑨【各地の事例から考える ジオパークの教育・学習の意義とは？】 分科会⑩【多様性をどうジオパークで活かす？ UDで実現させたいサステナビリティ】 分科会⑪【ジオ・エコ・ヒトーなぜジオパークで生態学？】の5分科会に別れて13:00から16:00までの3時間に渡って学び合いました。立山黒部ジオパークからは、山瀬学習支援員が分科会⑨で発表しました。分科会⑨は5人の実践事例で構成され、山瀬学習支援員は3番目に「学校教育でのジオパークの活用と意義について」というタイトルで発表しました。内容は、小学校での3つの実践事例をもとに、ジオパーク教育の意義として「豊かな学びができること」「ひと・もの・ことへの関心や愛着を高めることができること」「課題への気付きを与えることができること」を挙げるというもので、特に児童の発達段階や学習状況から学級担任が求める内容を打ち合わせることを重視したことが好評を得ていました。29日の午前中は、銚子会場、秩父会場とも、一般の部と小中高生の部に別れて、様々なテーマでの口頭発表とポスター発表コアタイムが行われました。立山黒部ジオパークからは、新ジオサイトの教育的活用について、両会場で発表しました。午後からは閉会式が行われ、今回の全国大会の意義と成果を確認するとともに、来年度の開催地である下北ジオパークからのアピールがあり、再会を誓い合いました。



2024開催！
第14回「ジオパークと自然の物語」
「ジオパークと自然の物語」
「ジオパークと自然の物語」



11月のジオパーク散歩

第18回 [ジオパーク散歩 in 信仰の里 芦峯寺]
〈地質と文化や信仰との関係〉

※小学生以下は保護者同伴でお願いします。

- ・日 時 11月22日（水）9：30～12：00
- ・集合場所 芦峯雄山神社入口（受付9：00～）
- ・見学場所 芦峯雄山神社、教算坊、閻魔堂、布橋、姥堂跡、立山大橋
- ・申込期限 11月16日（木）



第19回 [ジオパーク散歩 in 猪谷]
〈越中と飛騨を結ぶ飛騨街道東道を訪ねて〉

- ・日 時 11月22日（水）10：00～12：00
- ・集合場所 JR猪谷駅（受付9：30～）
- ・見学場所 神峯橋、素戔鳴社、野仏・双体道祖神群、神岡軌道跡の道路、三夜様、東猪谷素戔鳴社、東猪谷関所、猪谷関所館
- ・申込期限 11月16日（木）



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



令和5年度立山黒部ジオパークシンポジウム開催のお知らせ

山岳ジオツアーの魅力テーマにシンポジウムを開催します！

【開催日時】 12月9日（土）
13:30～16:00（開場 13:00）

【会場】 TOYAMAキラリ9階
ファーストバンクキラリホール

【内容】

- ・ 基調講演
演題：山岳ジオツアーの魅力
- ・ パネルディスカッション

※入場無料

9・10月の活動より

9/30 龍神の滝を探るジオパーク散歩とセラピーウォーク

9月30日に「龍神の滝を探るジオパーク散歩とセラピーウォーク」を行いました。一行は、ホテル森の風立山駐車場に集合し、担当ジオガイドから説明を受けました。まず、ホテル森の風立山近くの森の中に進み、ミズバショウ自生地を見学しました。現在はシーズンではないため、ミズバショウを見ることができませんでしたが、ジオガイドが用意した写真と比べながら、見学していました。その後、あわすのスキー場を経由し、百間滑に向かいました。途中、数多くの野生のサルを見ることができました。百間滑の岩肌は、中生代白亜紀前期の手取層群の粗粒な砂岩層からなっており、滑るように流れる光景は大変美しかったです。森林浴を楽しみながら、龍神（たつがみ）の滝に向かいました。15分ほど登山道を登ると姿を現します。この龍神の滝は、「富山の滝37選」にも選ばれている滝です。まだ紅葉を見ることはできませんでしたが、秋が深まるにつれ、色とりどりの絶景を見ることができるのではないのでしょうか。その後、あわすのスキー場まで下りて解散しました。あわすのスキー場ではヤギの放牧が行われていました。



10/7 家族でジオパーク散歩 in 生地 ～美しい清水のヒ・ミ・ツとは？～



10月7日に「家族でジオパーク散歩 in 生地」を行いました。今回は、家族連れをテーマとした内容で、黒部市生地地区の清水を巡るツアーでした。一行は、生地コミュニティセンターに集合し、「弘法の清水」、「岩瀬家の清水」、「絹の清水」、「清水庵の清水」を巡る約2時間のコースでした。実際に参加者は、それぞれの清水で飲み比べや、温度計で水の温度を調べながら回りました。「絹の清水」では、昔、隣にあった豆腐屋さんの豆腐が、絹のように滑らかだったのでこの名が付いたという歴史について、参加者に説明がありました。ちなみに、この「絹の清水」にある用水は、他とは違う特徴があります。それは、水の流れが海から山の方に向かって流れているのです。機会があれば、是非ご自身で確認してみてください。コース途中には生地中橋があります。生地中橋は、船を通行させるため、橋の片側を軸として回転する片持ち式の旋回式可動橋です。これは日本では最初であり、世界でも珍しい橋だそうです。その橋が回転している様子を見ることができました。最後の「清水庵の清水」で名物の水団子を試食し、生地コミュニティセンターで解散しました。なお、「岩瀬家の清水」は皇国晴酒造さんの敷地内にあります。通常、休日は非公開ですが、今回特別に見学させていただきました。ご協力ありがとうございました。

10/10 ジオパーク散歩 in 称名滝 ～称名滝の段差はなぜできた？～

10月10日に称名滝でのジオパーク散歩を行いました。平日ということもあり、遊歩道の人通りはまばらでした。所々立ち止まり、ジオガイドから周辺の景色や草花について説明を受けながら進み、1時間ほどで展望台に到着しました。前日までの雨の影響もあってか、水量は多く、ハンノキ滝も見ることができました。残念ながら、雲がかかっていたため、滝の頂上を見ることはできませんでしたが、勢いよく流れる光景は迫力がありました。10月10日時点で紅葉はまだ進んでいませんでしたが、一部の木々は色づき始めていました。季節によってその姿を変える称名滝に足を運んでみてはいかがでしょうか。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



10/14 [日本一小さい村【舟橋村】でジオパーク散歩

10月14日に「日本一小さな村(舟橋村)でジオ散歩」を行いました。一行は、富山地方鉄道の越中舟橋駅に集合し、無量寺、竹内天神堂古墳、宮塚古墳、若王子塚古墳を訪れました。無量寺は、明治時代の「ばんどり騒動」で農民が集合した地と言われています。「ばんどり」とは、肩かけだけで背あてのない蓑のことです。『ばんどり騒動』の名前は、農民たちがこの『ばんどり』に身をつつみ、年貢を減らしてほしいと一揆を起こしたことに由来しています。



次に訪れた竹内天神堂古墳は全長38.4mの前方後円墳で、古墳の上には神明社が建っています。現在は、高さ1m程の前方部と、高さ4～5m程の後方が残っています。富山平野東部にある古墳としては最も古いことから、この地域を治めた最初の首長が埋葬されたと考えられています。

その後、宮塚古墳、若王子塚古墳に向かいました。道中では、天気が良かったため、立山連峰の山々を見ることができました。最後は、再び越中舟橋駅に戻り、解散しました。

10/15 黒部川扇状地トレイルに参加しました！

10月15日黒部川扇状地研究所主催、立山黒部ジオパーク協会共催の黒部川扇状地トレイルが開催され、扇状地研究所から20名、当協会から3名が参加しました。あいにくの雨模様の中でしたが、水嶋一雄所長に解説をいただきながら、ゆっくりと歩を進めました。午前8時20分に入善町のひばり野足湯駐車場を出発し、流水客土採土地、法福寺を経由して愛本橋、旧北陸道上街道を通過して「黒部市生涯学習スクエアぷらっと」に到着し、本協会会員でもある八尾隆夫氏から旧北陸道上街道についての解説を拝聴しました。小休憩

の後、浦山宿を通過して終点の松桜閣に到着し、松桜閣ではすばらしい庭園を見学し、約12kmの行程を歩ききることができました。

その後、ジャンボタクシーに分乗してひばり野足湯駐車場に戻り、解散となりました。今回は、黒部川扇状地での流水客土の目的と成果、愛本橋建設と旧北陸道上街道整備の歴史と文化を学ぶことができ、大変有意義なトレイルとなりました。



10/17 富山市立広田小学校出前授業

10月17日に、富山市ジオガイド派遣事業の一環として富山市立広田小学校の5年生に理科「流れる水のはたらき」の出前授業を専門員と事務局員で行ってきました。4グループに分かれて砂山に川を作り、水の量によって侵食、運搬、堆積の流れる水のはたらきが違うことや川のカーブの内側と外側の水の流れ方に違いがあること等について観察したり、考察したりしました。実験の節目で専門員が観察したことや分かったことを尋ねると、たくさんの答えが返ってきました。児童たちは意欲的に実験・観察に取り組んでいたようです。まとめでは、立山黒部ジオパークのエリアでは、約50kmという短い距離で4,000mの高低差があることやそのため県内の河川はとても急流になっており、洪水の危険性が高いことなどの話をしましたが、熱心に聞いてもらいました。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



■ たてくろ 見どころ紹介コーナー

鷲羽岳 黒部川源流の美しい自然

(黒部川源流エリア)

ー 小さな流れは、山を下り、雄大な川となってー

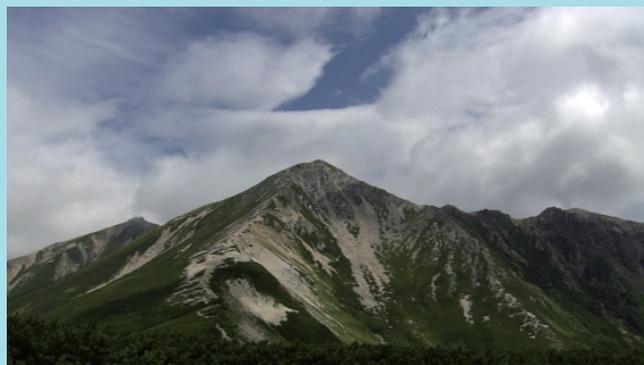
鷲羽岳は「わしばだけ」と読み、富山県と長野県の県境に位置する北アルプス最奥部の山の一つで、山頂からは、立山連峰など北アルプスのほとんどの山を見渡すことができます。鷲羽岳という名前は、薬師岳や三俣蓮華岳から山容を見ると、鷲が羽ばたいているように見えるからだと言われています。

山頂から見える槍ヶ岳と鷲羽池はとても有名な景色です。南東にある美しい鷲羽池は後期更新世の噴火口跡で、山頂から長野県側に下ったところにあります。

西側の山腹には「黒部川水源地標」が立っていて、その少し下からお花畑の中を水が流れています。この小さな流れは山を下り、雄大な川となって黒部川扇状地を通り、日本海に流れ込みます。

鷲羽岳は、立山黒部ジオパークの自然サイトに登録されています。

<https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=59>



<https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=59>



65=P

■ 協会会員企業の紹介

現場のお困り事改善で
人と社会のお役に立つ

Connect to the Future
TOYOX

耐圧ホースで流体輸送システム
ホース配管 安心セット

<https://www.toyox.co.jp>



オフィスのIT化・業務改善

コスト削減お手伝いをします

OA機器販売・充実のサポート
パソコントラブルサポート



<https://www.it-plan.net>



株式会社 **トヨックス**

富山県黒部市前沢4371

まるごと
あんしん
北陸電工

再エネ
技術開発
活線警報管理システム
外線
送変電
配電

内線工事 ■ 空調管工事 ■ 配電線工事 ■ 送変電工事 ■ 外線工事 ■ 再エネ



北陸電気工事株式会社

〒939-8571 富山県富山市小中 269 番

TEL. 076-481-6092 <https://www.rikuden.co.jp/>

<編集後記> 今年度の日本ジオパーク全国大会は、関東大会であり、メイン会場の千葉県銚子市とサテライト会場の埼玉県秩父市に分散しての開催というはじめての試みでした。開閉会式はオンライン配信で同時中継され、便利な時代となったものと驚かされました。でも、若い人たちにとってみればきっと普通なのでしょうね。

立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会 (076-431-2089) までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

